



平成30年1月発行 通巻148号

JA ゆうべつ町広報誌



KAGAYAKU TSUBASA

輝く翼

湧別町の空に飛ぶ白鳥を見た時、私は素敵だと感動しました。「JA ゆうべつ町」が飛躍する事を願い、群れをつくり大空に羽ばたく真っ白な白鳥の様に、気持ちを新たに一致団結して前へ大きく前進する願いを込めてデザインのイメージをしました。そして皆さんが愛読するにあたって、優しく温かい気持ちになれる様にと虹の橋を架けました。先頭を飛ぶ真ん中の白鳥にはリーダーと言う意味があり、冠を付けてみました。



今年は戌年! よろしくお祈りします。
～組合員さんの愛犬たち～

2018.1 vol.148



平成30年度 新年にあたり

湧別町農業協同組合

代表理事組合長 友澤 勇司



新年あけましておめでとござい
ます。組合員の皆様はじめ、ご家族
の皆様には、健やかに平成30年の新
年をお迎えのこととお慶び申し上げ
ます。

また、旧年中、当農協の事業運営
に深いご理解とご支援頂きましたこ
とに、役員一同深く感謝し御礼申
上げます。

さて、昨年を振り返りますと、春
耕期は天候に恵まれ播種作業は順調
に進みましたが、6月の低温、7月
には高温、8月中旬には曇天が続き、
一年を通じて日々の気象の変化に気
を揉む中での営農努力に敬意を表し
ます。

畑作においては秋播き小麦は細麦
により大きな減収となりました。甜

菜は、適期防除によって病害虫の発
生防止に努め高糖度となりました。

近年、各作物は天候によって、生育、
収量、品質に大きな差が見られます。
輪作体系や土づくりの大切さを再確
認し、改善に努めなければなりません。

酪農畜産においては、酪農家の減
少が続いておりますが、生乳生産量
は前年比102.5%の増産で推移
しております。乳価は4月から3円
の引き上げとなりました。JAが増
産支援に取り組むとともに、規模拡
大を積極的に進める組合員の成果が
実績となっております。

国産牛肉の強い需要から初生犢や
廃用牛を含め肉牛販売は高値で推移、
ホルスタイン初妊牛も高値が続いて
おり、生乳、畜産とも前年を上回る
販売額であります。

農業を取り巻く情勢では、農協法
改正による、北海道中央会の連合会
への移行に向けたJAの対応や、先
送りされている准組合員の利用規制、
JAバンクの見直し案等、農民組織
のあり方に今後影響するものであり、
十分に検討し、組合員が安心して営
農できる環境作りに努めなければな
りません。

また、今年は、日EU・EPA、T

PP11と2つの国際経済連携協定が
合意され、農業分野への影響に不安
を抱いております。国の責任におい
て、食糧自給率の目標を達成する為
にも日本農業の方向を示し、競争力
のある国内対策が必要であります。

さて、本年は新たな農業振興計画
のスタートの年として、組合員への
意向調査を基に「組合員の営農と生
活を守り向上させる」という目的を
踏まえ、各種課題に組合員とともに
積極的に取り組むこととしておりま
す。さらにJA中期経営改善計画も
前倒しで改善が進んでいることから、
同時にJA経営計画も協議中であり、
「農民による農民の為の組織」とし
て機能が発揮できる組織を目指すこ
とにも、農協の果たす役割が地域か
ら理解されなければと思っております。

今年も農業を取り巻く環境は容易
なものではありませんが、役員一
丸となりJA運営に取り組んで参り
ますので、組合員の皆様方の更なる
JAへの結集をお願い致します。

本年が好天に恵まれ、実り多い年
となります事と、ご家族皆様のご健
勝であります事をご祈念申し上げ、
年頭のご挨拶と致します。

謹賀新年

湧別町農業協同組合

代表理事組合長 友澤 勇司

副組合長 坂東 守

理事 上田 範幸

理事 松下 真二

理事 佐藤 茂

理事 中塚 和彦

理事 柴田 勉

理事 多田 健一

理事 野田 直人

理事 小幡 敏

理事 加藤 誠一

理事 中原 修

理事 高橋 武

理事 齊藤 浩一

理事 吉田 誠

理事 端場 浩

理事 山田 雄二

理事 長岡みどり

理事 中原 秋美

理事 小野 留美

理事 越智 大輔

理事 佐久間光紀

理事 久保 将彦

理事 越智 大輔

理事 佐久間光紀

理事 久保 将彦

理事 久保 将彦

理事 久保 将彦

新しい年を迎えて

網走農業改良普及センター

遠軽支所 支所長 竹岡 裕之



新年明けましておめでとうございます。平成30年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

農業者、関係機関の皆様には平素より農業改良普及事業の推進に対しまして深いご理解と温かいご支援、ご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。

さて、昨年の湧別町の気象経過と農作物の作況を振り返りますと、春先は気温が高く、融雪期が平年より5日早くなり、は種・移植作業は順調なスタートを切ることができました。5月は好天の日が多く各作物とも平年を上回る生育でした。しかし、6月に入ってから低温で降水量が多かったことから生育は緩慢となり、ほぼ平年並の生育状況に戻りました。また、夏には、台風の接近や通過に伴う強風や大雨により、農業被害を

被りました。

秋まき小麦は6月の低温、多雨により生育が緩慢になり、日照不足から開花がばらつきました。登熟期間には46日間と平年並の日数を確保できましたが、登熟後半の高温の影響を受け、子実の充実不足などから収量は平年を下まわりました。

てん菜はは種（直播）時の土壌水分不足、移植後の少雨などにより活着に時間を要しました。6月のまとまった降雨により、一部ほ場では湿害や計画的な防除ができなかったことによる病害の発生も見られました。が、全体的には病害虫の発生による生育や収量への影響は少ないものでした。根重は概ね平年並でしたが、湿害を受けたほ場では、肥大が緩慢となり減収しました。糖分は平年よりも高い傾向となりました。

飼料用とうもろこしについては、5月の晴天に恵まれ、は種や出芽は平年より早まりました。それ以降、生育は順調でしたが、6月のまとまった降雨により、土壌中の肥料成分の流亡や湿害からの生育不良も見られ、草丈が低く雌穂の登熟も遅れる傾向となりました。さらに、9月の台風接近に伴う暴風により、倒伏や折損等の被害も見られました。全体

の、乾物収量、TON収量は平年を下回りました。

牧草収量は、一番草は平年を下まわり、二番草は平年並みとなりました。一番草の品質は収穫作業が順調に進んだことからやや良となり、二番草は平年並の品質を確保することができました。

農業をめぐる情勢では、アメリカ合衆国の環太平洋連携協定（TPP）からの離脱や日EU・EPA（経済連携協定）合意による酪農業への影響も注視していかなければなりません。農業の競争力強化は急務であり、経営改善や地域の営農システムの充実などで生産性を高めていく必要があります。

普及センターでは、皆様が取り組む対策を支援し、「地域に担い手が残り、残れる農業」の振興を目指し、積極的な活動を展開してまいりますので、ご協力のほどをよろしくお願いたします。最後になりますが、本年の豊穡の秋とご家族の皆様のご健勝をお祈り申し上げ新年のご挨拶といたします。



酪農生産部会

部会長 多田 智弘
副部会長 鈴木 聡

畑作生産部会

部会長 井上 豊
副部会長 北谷 昭一
副部会長 佐藤 輝美

湧別町麦生産組合

組合長 遠藤 義美
副組合長 渡辺 豊
副組合長 栗田 淳

流水とうもろこし生産組合

組合長 井上 豊
副組合長 阿部 善夫
副組合長 加茂 一郎

農作業受委託連絡協議会

会長 中谷 友則
副会長 上田 範幸
副会長 小野 信一

湧別町ホルスタイン改良同志会

会長 越智 大輔
副会長 本間 義輝

湧別農協青色申告会

会長 畑 亮一
副会長 山崎 伸司

湧別町酪農ヘルパー利用組合

組合長理事 久保 隆幸
副組合長理事 山崎 伸司
組合長理事 島田 宗央
副組合長理事 久保 拓也

平成30年度の 年頭にあたり

北海道農業協同組合中央会

会長 飛田 稔章



組合員並びにJA役職員の皆様方には、ご健勝にて輝かしい平成30年の新年を迎えられたものよりお慶び申し上げます。

皆様方におかれましては、日々の営農と併せ、地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに対して、改めて敬意と感謝を申し上げます。

昨年の北海道農業は、春先は晴れの日が多く、気温も高かったことから農作業・生育も順調でありました。9月中旬以降は、雨の日が多く収穫作業に遅れが発生し、特に9月18日の台風18号によって、全道的にデントコーン・水稻の倒伏、農業施設の損壊などにより、農作物の品質、収量に懸念が生じ

たところでした。

しかしながら、結果的には、米は、作況指数が103の「やや良」、小麦・てん菜は、収量・品質とも平年作、生乳は、全般的に安定基調と組合員の皆様の努力の成果が報われた1年となりました。

平成28年9月に4つの台風の影響により、河川の氾濫、農地の流出、関連施設の損壊、停電による生乳廃棄など、全道各地で甚大な農業被害が発生し、その傷も完全に癒えない中ではありますが、昨年元旦に新聞紙上で意見広告を行った『それでも種をまく。』という農民魂のもと、JAグループ北海道は着実に前を向いて歩んで参ります。

一方、国際貿易交渉の状況は、TPP11、日EU・EPA、米国の貿易交渉など、その進展状況と合意内容、農業経営への影響など生産現場に十分伝わっていないこともあり、将来への不安を抱え、担い手の生産意欲の減退が懸念される所です。

農協改革、規制改革では、生産資材価格の引き下げと見える化、牛乳・乳製品の生産・流通においては、新たな加工原料乳生産者補

給金制度を盛り込んだ改正畜産経営安定法が成立するなど農業政策対応に追われた1年でありました。

JAグループ北海道は、今後とも必要な農政運動や国民理解へ向けての情報発信、JA経営の基盤を強化し、組合員の皆様の不安を払拭し、持続可能な北海道農業の確立に向け、万全な対応を図って参ります。

さて、現在、JAグループ北海道は、第28回JA北海道大会のメインテーマである「北海道550万人と共に創る力強い農業と豊かな魅力ある農村」の実現に向けた決議事項に基づき、その着実な実践を図っているところであり本年はその総括年度となります。

昨年はJAグループ北海道の実践状況について、全体共有を図るとともに実践への機運を高め、JAグループ内外に実践状況を発信すべく、新規担い手倍増と550万人サポーターづくり・准組合員制度をテーマにJA北海道大会実践フォーラムを開催致しました。

引き続き、JAグループ北海道の英知を結集し、北海道550万人から信頼され、ともに歩んでいくJAグループ北海道を目指して参り

ます。関係各位の特段なるご理解とご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

結びになりますが、今年の干支は戌戌(つちのえいぬ)です。

一説には、戌は、「茂」に通じる意味があり、「植物の成長が絶頂期にある状態」を表しているとのことでもあります。

今年は、この戌年にあやかり、天候に恵まれ実り多い豊穰の一年となりますよう、併せて、北海道農業並びに組合員、役職員の皆様の一層の発展を心よりご祈念申し上げます。新年にあたってのご挨拶といたします。



感謝をこめて80歳記念品贈呈



記念品を受け取る伊藤久雄さん

伊藤久雄(東)
安立衣公子(栄町)
小椋博(川西)
越智豊(芭露)
齊藤ふさ子(計呂地)

12月7日、友澤組合長と野田参事は、これまで湧別町の農業振興と発展にご尽力頂いた、満80歳(昭和12年2月〜昭和13年1月生まれ)の方々を個別に訪問し、感謝の気持ちを込めて記念品の贈呈を行いました。
記念品の贈呈者は次のとおりです。(敬称略)

地区別懇談会開催

11月27日から28日に湧別町農協本所と芭露支所において、平成29年度事業における経過報告及び30年度営農方針を議題とした営農懇談会が開催されました。



協議事項として、畑作経営については輪作体系の確立や有機物施用の促進など、酪農・畜産経営については生乳生産に伴う良質乳の安定生産の確立や畜舎内環境の改善といった平成30年度営農経営方針の説明し、また、平成30年度から平成34年度にかけてのJAゆづべつ町農業振興計画の経営理念・目標について各課長より説明し、組合員から出された意見を集約しつつ、来年度に向けた営農方針を確認しました。

第33回 定期総会兼温泉保養

〜芭露支所利用者年金友の会〜

芭露支所利用者年金友の会は12月4日〜5日の日程で、温根湯温泉「大江本家」にて定期総会を開催しました。

会員278名となる芭露地区年金友の会は、会員相互の親睦をはかり、健康で楽しい人生と明るい地域社会づくりを目的とし、ゲートボール大会やパークゴルフ大会、旅行定期預金トラベルプラン等を企画し運営しています。



本年の総会は56名の会員が出席し、議長に芭露の本田勝樹さんを選出し、提案された議案全て可決決定されました。

夜の懇親会では友澤組合長より挨拶を頂き、その後、副会長の上田定幸さんの乾杯の音頭で始まり、カラオケ大会や抽選会を行い、楽しいひと時を過ごしました。

今こそJA!

▼その意義と役割▲

最終回 JAの厚生事業

JAが病院経営を行っているのをご存じでしょうか?組合員が健康を損なえば日々の農作業や生活に大きな支障をきたしてしまい、病院がなければその地域に安心して住むこともできません。そこで医療を通じて組合員の健康や地域を守る役割を果たしているのがJA北海道厚生連です。JA北海道厚生連は昭和14年に農民組織が上湧別に開設した「北紋医聯久美愛病院」が前身であり、現在、全道15カ所です。厚生病院・診療所を運営し、そのうちオホーツク管内には5カ所(遠軽、網走、常呂、丸瀬布、上湧別)があります。病気の治療はもちろん大切ですが、日頃から病気にからないようにチェックすることも重要です。医療技術の進歩は目覚ましく、がんも早期発見によって治療が可能となってきました。このため厚生病院では健康管理活動に力を入れており、JA北海道厚生連が実施し

ている検診は全道で年間9万人が受診しています。また、北海道の高齢化率は全国平均を上回っており、医療とあわせて高齢者介護も重要な課題です。JA北海道厚生連では、全道3カ所、うちオホーツク管内に2カ所(常呂、小清水)の特別養護老人ホームを設置し、各地域で訪問看護ステーションやデイサービスといった居宅サービスをを行っています。この他にもJA北海道厚生連では家庭配置薬事業も行っており、各地域のJAと連携を取りながら、地域医療の拠点としての役割を果たしています。厚生病院・診療所に勤務している医者や看護師も私たちと同じJAの一員です。ぜひ気軽に声をかけて下さい。



▲ゆうゆう厚生クリニック全景 (JA北海道厚生連HPより)

○女性専用宿泊研修施設の名称決定について○

宿泊施設の名称は

「milkule」(みるくる)

に決定いたしました。

沢山のご応募、ありがとうございました。(平成30年3月完成予定)



新車 早期予約キャンペーン

JAグループ X SUZUKI X SUBARU

平成30年

1月15日[月] 受注分まで

登録期間は平成30年1月1日～3月31日まで

軽トラック

期間中、キャリアまたはサンバートラックを新車でご成約で付属品プレゼント!



スズキ キャリイ



スバル サンバートラック

軽バン

期間中、エブリイまたはサンバーバンを新車でご成約で付属品プレゼント!



スズキ エブリイ



スバルサンバーバン

SUZUKI 乗用車

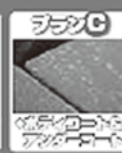
期間中、スズキの乗用車(新車)をご成約で下記付属品A～Eの中から好みの1点を無料でプレゼント!



アルト

ハスラー

イグニス



御問い合わせ / 湧別町農協整備工場 ☎(01586) 5-2219

農協 お知らせ版

平成29年度 第10回理事会
11月24日開催

報告事項

- ① 生乳受託販売特別委員会・生乳受託販売委員会について
- ② 中間棚卸の結果について
- ③ 湧別町功労者表彰式について
- ④ 湧別地区年金友の会総会及び温泉保養について
- ⑤ 対策室会議について
- ⑥ 第3回農業振興計画作成委員会について
- ⑦ 酪農部会役員会について
- ⑧ 京都交流会について
- ⑨ 農事組合長会議について
- ⑩ 道生乳受託販売委員会・道酪農畜産対策委員会について
- ⑪ 畑作生産部会について
- ⑫ オホーツク農協酪農畜産対策委員会について
- ⑬ 一日皆貯金日について
- ⑭ 自民党移動政調会について
- ⑮ 営農・経済専門委員会について

- ⑯ JA北海道大会実践フォーラムについて
- ⑰ 北海道アグリ・フードプロジェクトについて
- ⑱ よつ葉乳業取締役会について
- ⑲ 自由金利型定期貯金の受入れと貯金残高の推移について
- ⑳ 組合員の営農実績について
- ㉑ 平成29年10月末生乳生産実績について

協議事項

- ① 組合員の異動について
- ② ㈱デリーファーストゆづべつへの貸付について
- ③ 自己査定に係る資産評価額の設定について
- ④ 年末手当の支給について
- ⑤ 平成30年度営農方針(案)について
- ⑥ 自己査定マニュアル・担保評価マニュアルの一部改正について
- ⑦ 贈与税納税猶予に係る債務保証の解除について
- ⑧ 女性用実習生住宅名称の決定について
- ⑨ 家畜伝染病支援対策互助事業について

年末年始業務日程 ○＝業務

月日(曜日)	本支所(窓)金融	本支所(ATM)金融	Aセブンプラザ稼働時間等	整備工場	生産資材所	事務	Aコープゆづべつ	ハマナスクラブ	湧別給油所	芭露給油所
12/30	休み	12時まで	8:00~21:00	〇	12時まで	〇	〇	〇	〇	〇
12/31	休み	休み	8:00~21:00	〇	休み	9:30~15:00	〇	〇	12時まで	12時まで
1/1	休み	休み	8:00~21:00	〇	休み	〇	〇	〇	休み	休み
1/2	休み	休み	8:00~21:00	〇	休み	〇	〇	〇	休み	休み
1/3	休み	休み	8:00~21:00	〇	休み	〇	〇	〇	17時まで	17時まで
1/4	〇	〇	8:00~22:00	〇	休み	10:00~17:00	〇	〇	休み	休み
1/5	〇	〇	8:00~22:00	〇	休み	9:30~19:00	〇	〇	〇	〇
1/6	休み	休み	休み	〇	休み	9:30~19:00	〇	〇	〇	〇
1/7	休み	休み	休み	〇	休み	10:00~18:00	〇	〇	休み	休み
1/8	休み	休み	休み	〇	休み	10:00~18:00	〇	〇	17時まで	17時まで

平成29年度 生乳出荷状況について

JAゆづべつ町生乳出荷乳量推移 生乳出荷乳量との前年比較

